

除草剤

ワンクロスWG

®は登録商標

ISK 石原産業株式会社

本社 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目3番15号 ☎(06)6444-7154 FAX(06)6444-7156
中央研究所 〒525-0025 滋賀県草津市西渋川2丁目3番1号 ☎(077)562-3574 FAX(077)561-2024

ISK 石原バイオサイエンス株式会社

本社 〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号 ☎(03)6256-9170 FAX(03)3263-2078
札幌支店 〒060-0003 札幌市中央区北三条西1丁目1番地(サンメモリアビル) ☎(011)261-0211 FAX(011)271-3376
仙台支店 〒980-0811 仙台市青葉区一番町1丁目1番41号(カメイ仙台中央ビル) ☎(022)227-6813 FAX(022)264-4585
東京支店 〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号 ☎(03)6256-9190 FAX(03)3237-0571
大阪支店 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目3番15号(新石原ビル) ☎(06)6444-1454 FAX(06)6441-0765
福岡支店 〒810-0001 福岡市中央区天神5丁目10番11号(イトーピア天神ビル) ☎(092)751-0432 FAX(092)761-5924

ホームページアドレス <http://ibj.iskweb.co.jp>

 石原テレホン相談室 **0120-1480-57** イシハラ イーナ

ラベルを守って正しく使用しましょう!
適用作物、薬量(稀釈倍数)、
使用時期、使用回数を守りましょう
石原は「食の安全」を大切にします

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届くところには置かないでください。●空袋は農場などに放置せず、適切に処理してください。

ISK 石原バイオサイエンス株式会社

ワンクロスWG の特性

- ▶ 試験コード: SL-122顆粒水和剤
- ▶ 有効成分含有量: フルアジホップP..... 7.0%
- ▶ 一般名: フルアジホップP・リニュロン水和剤
- ▶ 性状: 淡褐色水和性細粒

薬剤特性

試験コード	SL-122顆粒水和剤	
有効成分(一般名)	フルアジホップP	リニュロン
製品中の含有率	7.0%	30.0%
化学名	ブチル(β)-2-[4-(5-トリフルオロメチル-2-ピリジリオキシ)フェノキシ]プロピオナート	3-(3,4-ジクロロフェニル)-1-メトキシ-1-メチル尿素
構造式	<chem>CCCCOC(=O)C1=CC=C(C=C1)OC2=CC=C(C=C2)OC3=CC=CC=C3C(F)(F)F</chem>	<chem>CN(C)C(=O)Nc1ccc(Cl)c(Cl)c1</chem>
作用機作	雑草の莖葉部および根部から容易に吸収され、アセチルCoAカルボキシラーゼ(脂肪酸合成の開始反応を触媒する酵素)を阻害することにより、雑草の発芽・生育を停止させ、枯死させます。	雑草の根部、莖葉部より吸収され、光合成を阻害することにより、雑草の発芽・生育を停止させ、枯死させます。

安全性

試験コード	SL-122顆粒水和剤
人畜毒性	普通物*
急性経口毒性	ラット雌 LD ₅₀ > 2000mg/kg
急性経皮毒性	ラット雌雄 LD ₅₀ > 2000mg/kg
水生生物への影響	コイ LC ₅₀ : 11mg/L(96hr) オオミジンコ EC ₅₀ : 1.8mg/L(48hr) 藻類 ErC ₅₀ : 0.088mg/L(72hr)

*毒劇物に該当しないものを指していう通称

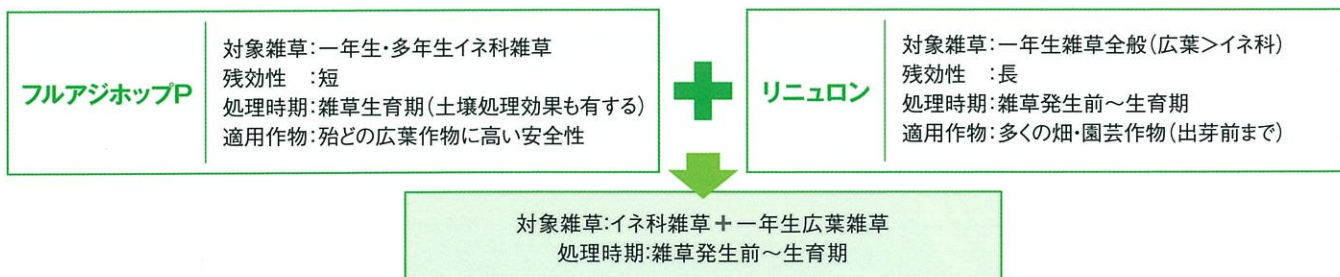
ワンクロスWG の特長

畑地一年生雑草全般に有効

本剤は、イネ科雑草全般に高い茎葉処理効果を示すフルアジホップPと、一年生雑草全般、特に広葉雑草に対して高い茎葉兼土壌処理効果を示すリニュロンの効果により、殆どの畑地一年生雑草を防除することが可能です。

雑草の後発生を抑える

雑草茎葉処理効果の他、土壌処理効果を有し、一定期間雑草の後発生を抑えることが出来ます。



殺草スペクトラム

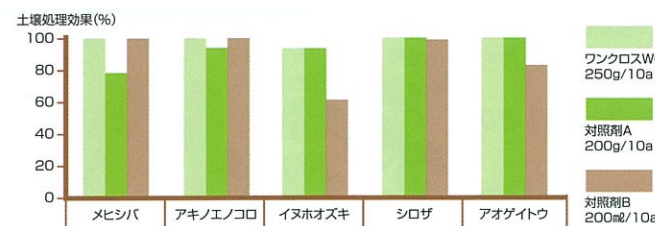
製品量(g/10a)	イネ科雑草					広葉雑草						
	メヒシバ	オヒシバ	エノコログサ	アキノエノコ	イヌビエ	アオゲイトウ	シロザ	タネ類	センダンダサ	アメリカ	タカサプロウ	イヌビユ
200	○	○	◎	○	◎	○	○	◎	◎	◎	○	◎
250	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
300	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

◎:効果極大、○:効果大 公益財団法人 日本植物調節剤研究協会委託試験および石原産業株式会社中央研究所内試験結果より

土壌処理効果

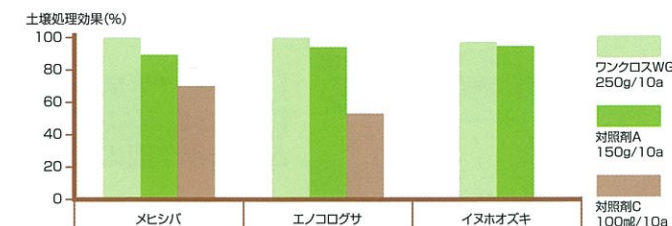
試験概要

- 試験場所: 石原産業(株)中央研究所
- 試験規模: 1/10,000aポット
- 雑草種子は種: 2011年6月14日
- 供試薬剤処理: 2011年6月15日
- 調査: 処理35日後に雑草発芽抑制率を評価



試験概要

- 試験場所: 石原産業(株)中央研究所
- 試験規模: 1/10,000aポット
- 雑草種子は種: 2014年9月4日
- 供試薬剤処理: 2014年9月5日
- 調査: 処理21日後に雑草発芽抑制率を評価



茎葉処理効果

メヒシバに対する効果

「メヒシバ5葉期処理」



アオゲイトウに対する効果

「アオゲイトウ7葉期処理」

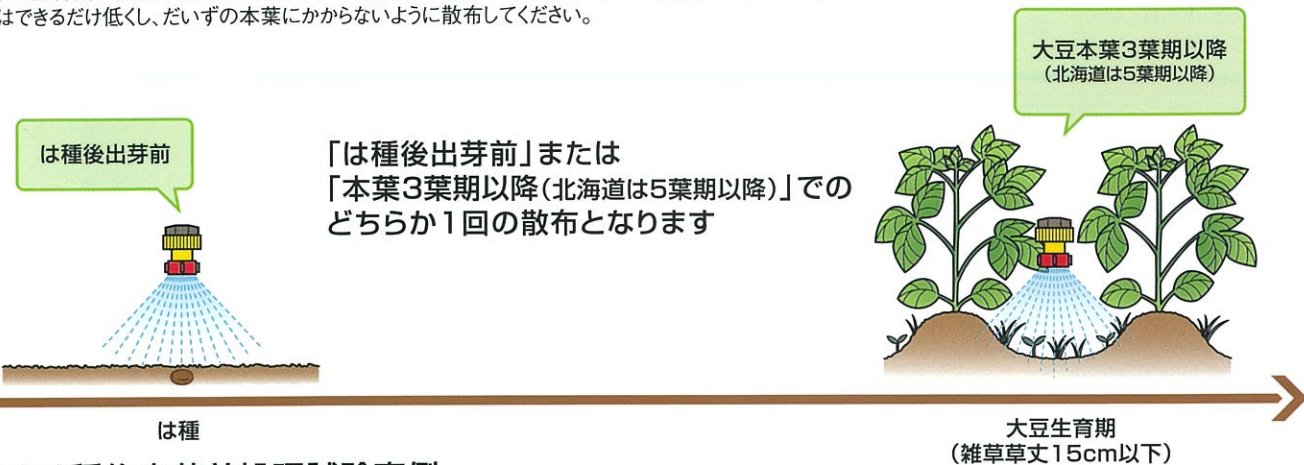


平成24年 石原産業株式会社 中央研究所内試験結果より

ワンクロスWGの上手な使い方 大豆

1 処理時期:は種直後または、だいず生育期の畦間・株間処理

●だいずの生育期に使用する場合、専用ノズルを使用してください。また、だいずへの選択性はないので、噴口はできるだけ低くし、だいずの本葉にかからないように散布してください。

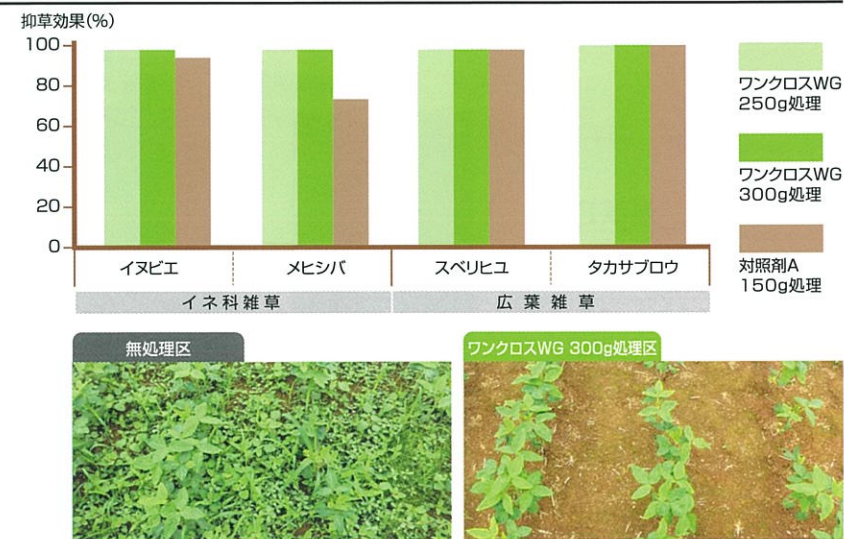


だいずは種後出芽前処理試験事例

平成27年度 >> 長野県農業試験場

試験概要	
品 種	すずほまれ
播 種 日	平成27年6月10日
散 布 日	6月11日(大豆出芽前)
調 査 日	7月9日(処理28日後)
供試薬剤	ワンクロスWG:250g/10a, 300g/10a 対照剤A:150g/10a

結果概要	
▶生育、収量への影響は認められず、除草効果が高い。	

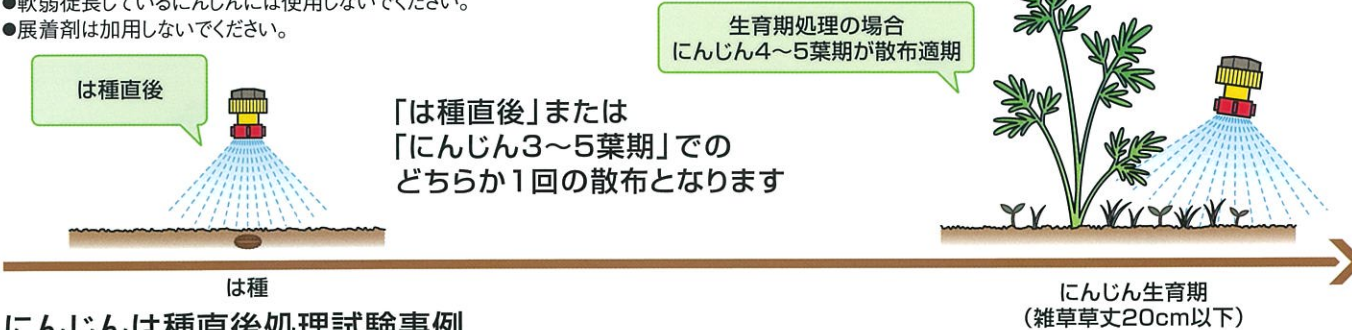


ワンクロスWGの上手な使い方 にんじん

1 処理時期:は種直後または、にんじん生育期処理

【にんじん生育期での使用上の注意】

- にんじんの生育期に使用する場合、にんじんの4葉期頃が散布適期です。(ただし、雑草草丈20cm以下)
- 発芽直後から3葉期末まで使用しないでください。
- 高温時は使用しないでください。
- 品種により薬害を生じることがあるので、事前に使用品種における薬害の有無を確認してください。
- 特定の品種(ベータ312等)に使用すると薬害を生じる場合があるので使用しないでください。
- 軟弱徒長しているにんじんには使用しないでください。
- 展着剤は加用しないでください。

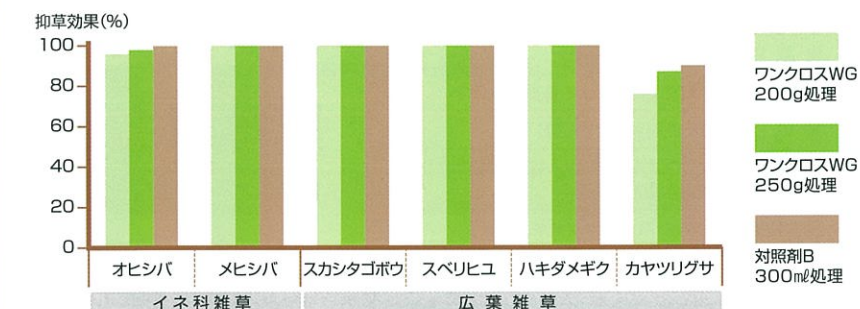


にんじんは種直後処理試験事例

平成26年度 >> 栃木県農業試験場

試験概要	
品 種	愛紅
播 種 日	平成26年7月25日
散 布 日	7月26日(にんじんは種直後)
調 査 日	9月2日(処理38日後)
供試薬剤	ワンクロスWG:200g/10a, 250g/10a 対照剤B:300ml/10a

結果概要	
▶カヤツリグサを除く、イネ科雑草および非イネ科雑草に対して除草効果が高かった。	
▶いずれの処理区も薬害の発生はなく、作物への生育、収量への影響は無かった。	

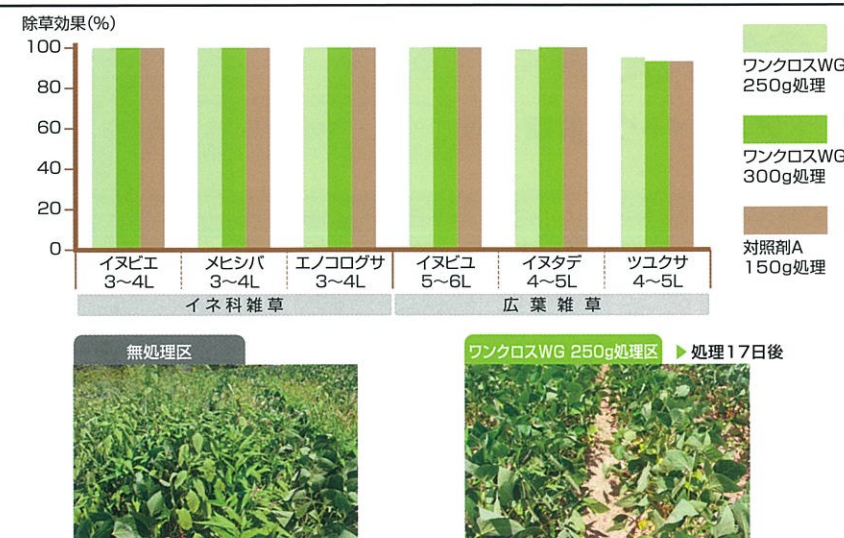


だいず生育期処理試験事例

平成22年度 >> 山形県農業総合研究センター

試験概要	
品 種	タチユタカ
播 種 日	平成22年6月4日
散 布 日	7月20日(大豆9L 草丈60cm)
調 査 日	8月10日(処理21日後)
供試薬剤	ワンクロスWG:250g/10a, 300g/10a 対照剤A:150g/10a
発生雑草	イネ科雑草:3~4L, イヌビユ:5~6L, イヌタデ:4~5L, ツクサ:4~5L

結果概要	
▶いずれの薬量とも各草種に対して高い除草効果を示した。	
▶薬害は無く、生育・収量への影響も認められなかった。	

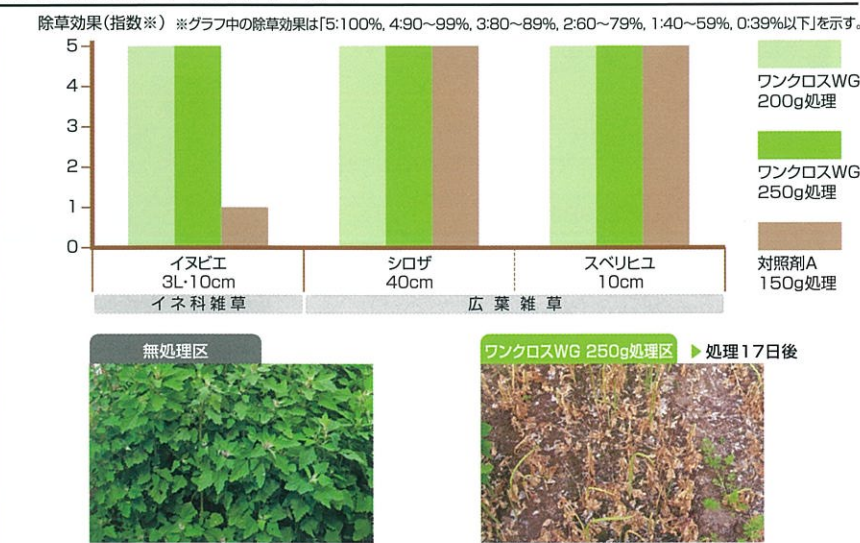


にんじん生育期処理試験事例

平成22年度 >> 公益財団法人 日本植物調節剤研究協会 北海道試験地

試験概要	
品 種	向陽2号
播 種 日	平成22年6月2日
散 布 日	7月6日(にんじん3L 草丈18cm)
調 査 日	7月26日(処理20日後)
供試薬剤	ワンクロスWG:200g/10a, 250g/10a 対照剤A:150g/10a
発生雑草	イヌビユ:3L・10cm, シロザ:40cm, スベリヒコ:10cm

結果概要	
▶各処理区とも雑草が極めて大きくなっていても変わらず、極大の除草効果を示した。	
▶いずれの薬量とも薬害は認められず、生育、収量への影響もなかった。	



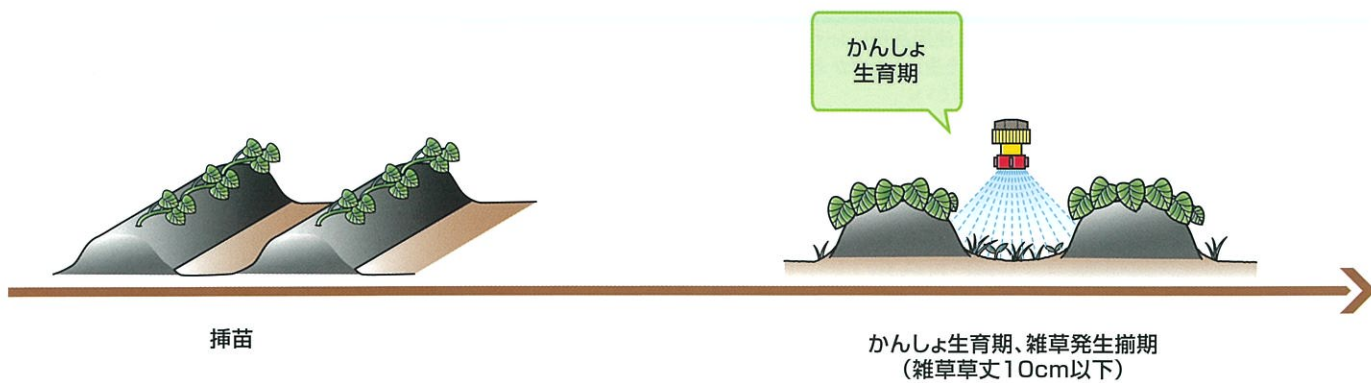
ワンクロスWGの上手な使い方

かんしょ



1 処理時期:かんしょ生育期畦間処理

●かんしょにかかると薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意してください。



かんしょ生育期処理試験事例

平成28年度 >> 千葉県農林総合研究センター

試験概要

品 種 紅はるか

定 植 日 平成28年5月12日

散 布 日 6月15日(かんしょ主茎長19cm)

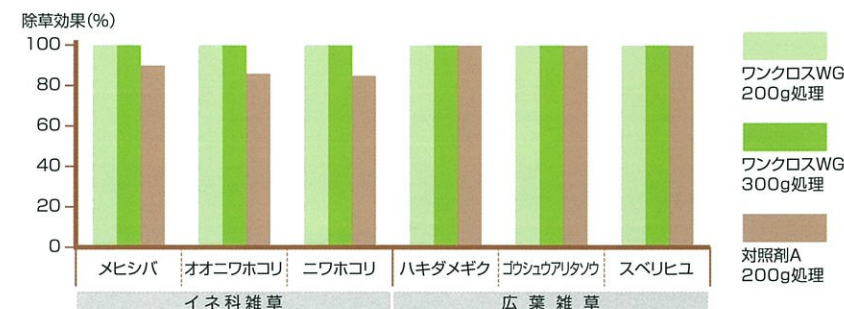
調 査 日 6月29日(処理14日後)

供試薬剤 ワンクロスWG:200g/10a, 300g/10a
対照剤A:200g/10a

発生雑草 メヒシバ:7L, ハキダメギク:4L
スベリヒユ:3L

結果概要

▶いずれの薬量とも一年生雑草に対する除草効果が高く、かんしょへの薬害も認められない。



平成29年度 >> 社内自主試験

試験概要

品 種 紅はるか

定 植 日 平成29年5月23日

散 布 日 6月22日

調 査 日 7月21日(処理29日後)

供試薬剤 ワンクロスWG:300g/10a

発生雑草 メヒシバ:15cm, シロザ:25cm
ホソアオゲイトウ:12cm
イヌタデ:15cm, イヌビユ:28cm

結果概要

▶各雑草に高い効果を示し、抑草効果も高かった。



ワンクロスWGの登録内容

*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当りの使用量		使用方法	総使用回数*			適用地域
			薬量	希釈水量		本剤	フルアジホップを含む農薬	リニユロンを含む農薬	
だいず	一年生雑草	は種後出芽前(雑草発生前)	250~300g	100L	全面土壌散布	1回	1回	2回以内 (全面土壌散布は1回以内、雑草茎葉兼土壌散布は1回以内)	全域 (北海道を除く)
		本葉3葉期以降(雑草生育期)但し、収穫45日前まで	200~300g		雑草茎葉兼土壌散布(畦間・株間処理)				北海道
		本葉5葉期以降(雑草生育期)但し、収穫45日前まで	200~300g		雑草茎葉兼土壌散布(畦間・株間処理)				北海道
にんじん	一年生雑草	は種直後(雑草発生前)	200~250g	100L	全面土壌散布	1回	1回	2回以内 (は種直後は1回以内、にんじん3~5葉期は1回以内)	全域
		3~5葉期(雑草生育期)但し、収穫30日前まで	200~250g		雑草茎葉兼土壌散布				全域
かんしょ	一年生雑草	生育期(雑草発生揃期)但し、収穫60日前まで	200~300g	100L	雑草茎葉兼土壌散布(畦間処理)	1回	1回	2回以内 (全面土壌散布は1回以内、雑草茎葉兼土壌散布は1回以内)	全域

※本内容は、平成30年1月17日付の登録内容に基づいています。

ワンクロスWG 使用上の注意事項

1) 一般的注意事項

- ・使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- ・散布液の調製にあたっては本剤の所要量を所定量の水にうすめ、よくかきまぜてから散布してください。
- ・砂質で水はけのよい畑では、薬量を控えめにしてください。また、激しい降雨が予想される時には使用しないでください。
- ・砂土では使用しないでください。
- ・マルチ栽培、トンネル栽培等での使用は薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。(ただし、かんしょのマルチ栽培は除く)
- ・蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ・カヤツリグサ科雑草には効果が劣るので、これら雑草の優占圃場での使用はさけてください。
- ・散布薬液の飛散、あるいは本剤の流出によって有用植物に薬害が生じることのないよう十分注意して散布してください。
- ・本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

2) だいずの畦間・株間散布に使用する場合は、前記一般的注意事項のほか、次の事項を守ってください。

- ・専用ノズルを使用してください。また噴口はできるだけ低くし、本葉にかからないように散布してください。
- ・散布適期は雑草生育期(草丈15cm以下)であり、使用時期を失ないように散布してください。

3) にんじんに使用する場合は、前記一般的注意事項のほか、次の事項を守ってください。

- ・にんじんの生育期に使用する場合は、散布適期は雑草生育期(草丈20cm以下)であり、使用時期を失ないように散布してください。
- ・にんじんの発芽直後から3葉期未満までは使用しないでください。
- ・高温時は薬害を生じるおそれがあるので、使用しないでください。
- ・特定の品種(ベータ312等)においては生育期に使用すると薬害を生じる場合があるので注意してください。

4) かんしょに使用する場合は、前記一般的注意事項のほか、次の事項を守ってください。

- ・散布適期は雑草発生揃期(草丈10cm以下)であり、使用時期を失ないように散布してください。
- ・作物にかかる薬害を生じるおそれがあるので、かからないように使用してください。

○安全使用上の注意事項

- ・眼に対して刺激性があるので、眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗いし、眼科医の手当を受けてください。使用後は洗眼してください。
- ・蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないように注意してください。